

J - クレジット制度管理者 御中

## 実績確認概要書

平成30年6月29日

審査機関名 ロイドレジスター クオリティ アシュアランス リミテッド

### 1. 排出削減事業計画の概要

排出削減事業名	病院施設における空調用冷水・温水ポンプへのインバーター制御設備（エコビジョン）導入による排出削減事業
承認番号	KC1337
排出削減事業者名	独立行政法人労働者健康安全機構 東北労災病院
排出削減共同実施事業者名	一般社団法人 低炭素投資促進機構 (その他関連事業者名：なし)
事業実施場所	独立行政法人労働者健康安全機構 東北労災病院 (住所：宮城県仙台市青葉区台原4丁目3-21)
事業の概要	調用冷水・温水ポンプにインバーターおよび制御設備を導入する。定格にて動作している空調用冷水・温水ポンプに対し、インバーターおよび制御設備を導入することで負荷に応じた運転を行えるようにする。これによりポンプの消費電力を削減する。
排出削減量の計画	【限界電源炭素排出係数の場合】 2012年度： 38tCO2 2013年度： 226tCO2 2014年度： 212tCO2 2015年度： 204tCO2 2016年度： 214tCO2 2017年度： 214tCO2 2018年度： 214tCO2 2019年度： 214tCO2 2020年度： 177CO2 (事業実施期間合計 1,713tCO2) 【全電源炭素排出係数の場合】 2012年度： 30tCO2 2013年度： 234tCO2

	2014年度： 220tCO2 2015年度： 206tCO2 2016年度： 214tCO2 2017年度： 214tCO2 2018年度： 214tCO2 2019年度： 214tCO2 2020年度： 177tCO2 (事業実施期間合計 1,723tCO2)
クレジット認証期間	開始日 2013年1月26日 終了予定日 2021年1月25日
排出削減方法論	方法論番号005: 間欠運転制御、インバーター制御又は台数制御によるポンプ・ファン類可変能力制御機器の導入

## 2. 本実績確認の対象期間

2015年4月1日 ～ 2018年1月25日 (第3回目実績報告)

## 3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	967tCO2 (2015年4月1日 ～ 2018年1月25日)
-------	-------------------------------------

## 4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
排出削減量が承認排出削減事業計画に従って実施した結果生じていること	排出削減量が、承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じている事を、以下の通り確認した。 1) 開始日の確認 (初回実績確認の場合) 初回実績確認ではないので該当しない。  2) 対象期間中の設備稼働の確認 省エネ実績報告明細書、コ・ジェネレーションシステム 常用発電機運転監視記録表、電気設備日誌の集計データ及び事業者へのヒアリングにより、導入設備は実績報告期間において継続的に稼働していたことを確認した。□

<p>排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること</p>	<p>排出削減量は、承認排出削減事業計画に従って実施され、算定されていることを確認した。</p> <p>1) モニタリング方法の確認  省エネ実績報告明細書、コ・ジェネレーションシステム 常用発電機運転監視記録表、電気設備日誌の集計データ及び排出削減事業関係者へのヒアリングにより、モニタリング方法が方法論及び当該削減計画に沿って実施されていたことを確認した。</p> <p>2) 活動量の正確性  省エネ実績報告明細書、コ・ジェネレーションシステム 常用発電機運転監視記録表、電気設備日誌の集計データ及び排出削減事業関係者へのヒアリングにより、エネルギー使用量の記録・保存は適切になされており、活動量が正確に集計されていることを確認した。</p> <p>3) 単位発熱量、排出係数等の確認  電力並びにA重油の集計データ及び、事業者へのヒアリング並びに J-クレジット制度のモニタリング・算定規程（排出削減プロジェクト用）Ver.3.1等 により、排出削減量の算定式及び使用されている単位発熱量、排出係数等は方法論及び承認排出削減事業計画通りであることを確認した。</p> <p>4) 排出削減量算定方法及び算定結果の確認  排出削減量の算定結果を冷温水ポンプ運転時間、冷温水ポンプ定格容量、A重油使用量並びに購買電力量の集計データとの突合、計算過程の確認、再計算等実施した結果、排出削減量の算定結果に誤りはないことを確認した。</p>
<p>算定結果がクレジット認証期間の終了日を超えないこと</p>	<p>今回の実績確認対象期間は 2015年 4 月1日から 2018年1月25日までとなっているが、J-クレジット制度への移行手続きにより、終了予定日は 2021 年 1月25日となっているため、クレジット認証期間の終了日を超えないことを確認した。</p> <p>□</p>

## 5. 承認排出削減事業計画からの重要な変更点についての評価

今回の検証において承認排出削減事業計画からの重要な変更点に該当する事象はなかった。

## 6. 特記事項

本実績確認期間における省エネルギー量として、原油換算 458.6kl、熱量換算 17779.1GJであることを確認した。

以上